



2012FUJICHAMPIONRACESERIESROUND 6



2012年のシリーズも今回が最終戦。さすがに12月に入ってから富士スピードウェイはとて寒く、曇時々晴れの天気ながらお昼の時点で気温が4度、風もあるので体感はずっと寒く感じるが、レースは午前中の予選でいくつかのクラスでコース記録更新が出るほど、熱い走りを見せ付けられ決勝も熱いバトルが期待される最終戦となった。今シーズンから86&BRZクラスが新設、ハチロクといえば富士フレッシュマン(チャンピオンレースの以前の名称)というくらい白熱のバトルは、有名ドライバーの入門カテゴリーで数々の名勝負を残し、トップドライバーを産出してきた。そのハチロクが新たな車両を手に入れ、86で復活。第5戦からロードスターとの混走で始まり、まだ参加台数も少ないものの、来シーズンにかけてとても期待されるクラスの復活という嬉しいシーズンとなった。

REVIEW

ROADSTER CUP NC/DEMIO RACE Round 4



最終戦の最初のレースで予選トップ・ポールポジションの座を決めたのはNCクラス 8 ド☆ライダー ロードスターの菊池聡。タイムは2'09.811でコース記録の更新だ。2番手の70 坂本クリニック ロードスターの東徹次郎も2'09.889で更新。デミオクラスの方も予選トップの75 145デミオ改withSKR西山隆が2'19.251でコース記録を更新している。スタート後、混戦の1コーナーでトップに立ったのは70 東、そこに64 Joy☆abMoty'sNC 芝本淳がぴったりついてゆくレース展開、前半はその順位で周回を重ねていくが、スタート直後には5番手になっていたポールの8菊池もまた徐々に順位をあげてゆく、7周目にはトップの位置を奪い返し、8週のレースを終了した。デミオクラスは75西山のポールトゥウィン。終了後、優勝の8菊池は「ミスで抜かされてしまい、何とか取り戻そうと頑張った。せっかくのポールからのスタートで一旦順位は落としたものの、楽しかったし勝てて嬉しいです」デミオクラス75西山は「良いレースが出来ました。走りこんで練習もしたし、それが生かせた」と話していた。



RESULT リザルト RSC NC

Rank	No.	Name
1	8	菊池 聡
2	64	東 徹次郎
3	70	新井 敏克
4	21	ランマン
5	18	Brackmore



RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank	No.	Name
1	75	西山 隆
2	85	奥津 智貴
3	24	オブチマサヒト
4	34	常盤 岳史

REVIEW

SILVIA-180/MR2 NA1600/N1600 COLLORA AXIO GT Round 4



最終戦を待たずにMR2以外のクラスはチャンピオンが決定しているこのレース、午前中の予選でポールポジションを決めたのはNA1600クラスチャンピオンの37 四季の森歯科IDIウィナーG86 秋元優範、チャンピオン争いをしているMR2クラスは4文祥堂アクレ柳本ダイエーMR2の阿部恵一が2'02.566でコース記録を更新し、争そっている78谷田と3土取より前という混乱を予想されるポジションからのスタートとなる。トップからスタートの37秋元と終始バトルを繰り広げたのは12 SPM ☆CSヒロPFCユーノス なかむらともしきがチェッカー後に止まってしまうくらいのトラブルを抱えながらも面白いレースを展開した。N1600クラスは予選4番手スタートの240ガレーシアネックス・μ・レビンの山口崇がチャンピオンの意地に掛けて優勝。シルビアも2連勝していた24 プロμフルスロサイトウシルビアの瀧下貴之が勝ち、MR2では78ダイエーモータースDXLMR2谷田伸行が決勝中にさらに記録を更新して優勝し、チャンピオンを決めた。37秋元は「今シーズンで一番楽しいレースでした。なかむらさんのマシンが壊れていなかったら負けてたかも」と楽しそうに話していた。



RESULT リザルト SILVIA-180

Rank	No.	Name
1	24	瀧下 貴之
2	96	落合 立成

RESULT リザルト MR2

Rank	No.	Name
1	78	谷田 伸行
2	4	阿部 恵一
3	76	深田 篤史
4	3	土取 謙太郎

RESULT リザルト NA1600

Rank	No.	Name
1	37	秋元 優範
2	12	なかむら ともしき
3	99	竹内 秀伸
4	787	鈴木 吉兵衛

RESULT リザルト N1600

Rank	No.	Name
1	240	山口 崇
2	40	柳本 文彦
3	36	大石 重之
4	41	中村 徹
5	16	朝倉 潤司
6	33	國本 悟

RESULT リザルト AXIO GT

Rank	No.	Name
1	60	吉田 利昭

REVIEW

AE111
Round 4



シリーズチャンピオン争いは7 C千葉千自総大エンドレスレピンの市丸聡と77 SPM☆μ☆UETAKEトレノのなかむらたかひろの一騎打ちで迎えた最終戦だが、予選では今回スポット参戦してきた昨シーズンまでのチャンピオン4 ウエタケワコーズEDトレノ 太田侑弥が1'59.851のタイムでコースレコードを更新して堂々のポールポジション、2番手には78 藤和ケミカルTakadaトレノの冥賀直文、3番手に市丸というポジション、77なかむらは予選中のマシントラブルで決勝のグリッドにはつげずにレースを終え、決勝レース前に7市丸のチャンピオンが決まってしまった。決勝では好スタートでトップに立ち後続を押さえている4太田、周回を重ねるごとに徐々に2位以下を引き離していく。一方2番手争いは市丸・冥賀に加えて22 IDIマルヨシ・フルスロトレノの宮崎敏も加わり周回ごとに順位が代わる激しい戦いだ。10周のレースを終え優勝したのは4太田、2位に78冥賀、3位に市丸という結果になった。4太田は「気持ちよくレースができました。(自身の持つ)コースレコードを更新出来たしとても嬉しい」と話していた。

RESULT リザルト AE111

Rank	No.	Name
1	4	太田 侑弥
2	78	冥賀 直文
3	7	市丸 聡
4	22	宮崎 敏
5	91	窪田 範明
6	23	藤木 学

REVIEW

N1400/N1000/DEMIO(N1)
Round 4



RESULT リザルト DEMIO(N1)

Rank	No.	Name
1	103	R.P.M/H
2	8	大谷 淳

RESULT リザルト N1400

Rank	No.	Name
1	13	北川 信弘
2	31	黒須 聡一
3	5	水谷 明彦
4	82	古川 知己
5	9	小山 雄一
6	91	上山 敦裕

RESULT リザルト N1000

Rank	No.	Name
1	32	海野 純也
2	7	松波 太郎
3	77	深沢 雅文
4	41	佐藤 英二
5	2	あおき みのる
6	51	清水 悠祐

REVIEW

ROADSTER Round 4
86&BRZ Round 2



RESULT リザルト ROADSTER

Rank	No.	Name
1	1	雨宮 恵司
2	18	大野 俊哉
3	9	万歳 聡
4	48	芝田 敦史
5	21	あすか
6	8	福永 健二

RESULT リザルト 86&BRZ

Rank	No.	Name
1	52	田畑 勇
2	55	竹内 浩典



スプリント4戦と耐久1戦で行われたこのクラス、86&BRZは前戦の第5戦と最終戦の2回のレースとなった。この最終戦では第5戦のグリッドとは逆に、タイムの速い86&BRZクラスを前のポジションからのスタートとした。その86&BRZクラスでは、現役GTドライバーの竹内浩典がエントリー。予選でポールを決めたのは52 86RACER'S 田畑勇、55 86RACER'S 竹内がフロントローに並ぶ、3番手スタートはロードスタークラストップで全勝に王手をかける1コーンズIDIロードスターの雨宮恵司、18大野俊哉がそこに並ぶ。今シーズン最後の決勝となるこのレース、寒さも増してきた15:40にスタートし予選順位順に各マシンが1コーナーへ消えてゆく。ここでまさかの55竹内浩典が反則スタートでペナルティをくらい順位を下げしてしまう。ロードスターの方はチャンピオンが決定している1雨宮と18大野が今回も終始激しいトップ争い、最終ラップまでもつれ込み総合優勝は86&BRZ 52 田畑、ロードスターは1雨宮となった。52田畑は「昨日初めてこのマシンに乗って今日レースでしたが楽しかった!」と話し、1雨宮は「大野君しつこいからー!、毎回楽しいレースですが、今日もとても楽しかったです」と話していた。

2012 FUJI CHAMPION RACE SERIES AWARD & CHAMPION



2012年富士スピードウェイで開催されたシリーズ戦の西を飾った富士チャンピオンレースシリーズは、今年も熱かった！

N1400



POINT RANKING

N1400／ポイントランキング

Rank	No.	Name	4/7~8	5/20	7/22	10/27	12/9	Total
			耐久					
1	31	黒須 聡一		20	6	20	15	61
2	21	大竹 直	7.5	1	10	20	6	44.5
3	5	水谷 明彦	10	1	15	0	—	38
4	26	斎藤 和実		6	12	15	2	35
5	13	北川 信弘	1	—	3	10	20	34
6	33	船木 宏	6	1	2	15	0	24

N1400 31 黒須聡一

大変でしたが、チャンピオンが獲れてよかった。とても嬉しいですが、今日の最終戦で(チャンピオンを争っていた)大竹さんがあのような形で途中から争えなくなってその点がとても残念でした。

N1000



POINT RANKING

N1000／ポイントランキング

Rank	No.	Name	4/7~8	5/20	7/22	10/27	12/9	Total
			耐久					
1	77	深沢 雅文	7.5	1	12	15	15	62.5
2	7	松波 太郎	6	1	20	0	20	62
3	32	海野 純也	10	1	10	10	10	61
4	41	佐藤 英二		15	20	12	10	57
5	51	清水 悠祐	5	1	0	12	0	24
6	2	あおき みのる		8	—	8	8	24

N1000 77 深沢雅文

チャンピオンを獲れたのは嬉しいです。なかなか思い描いていたシナリオ通りには、いかないシーズンでしたね。ウチの若いのが育ってきたのでチャンピオンを取らせたいけれど、まだまだですね！

ROADSTER CUP NA6



POINT RANKING

ロードスターカップ NA6／ポイントランキング

Rank	No.	Name	4/8	5/20	7/22	9/1	Total
			Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Point
1	15	毛塚 広幸	20	20	20	20	80
2	882	杉岡 尚人	15	15	0	15	45
3	124	山本 浩朗	0	10	15	0	25
4	23	山川 穰	—	0	12	12	24
5	7	茂木 文明	12	12	0	—	24
6	76	辻本 均	0	0	—	10	10

ロードスターカップ NA6 15 毛塚広幸

全勝でチャンピオンを取れたのは嬉しいですが、内容は相手のミスなどの運も含めてギリギリで勝てた感じでした。来シーズンはまだ決めてはいませんが、N1の方も視野に入れて考えています。

DEMIO(N1)



POINT RANKING

デミオ (N1)／ポイントランキング

Rank	No.	Name	4/7~8	5/20	7/22	10/27	12/9	Total
			耐久					
1	103	R.P.M/H		20	20	20	20	80

デミオ(N1) 103 R.P.M/H

仕事のため年間表彰式に出席出来なかったR.P.M/H選手は代わりに出席した奥様へのインタビューで普段どんな人かとマイクを向けられると「何事にもものすごく一生懸命頑張る人です」と答えていた

ROADSTER CUP NA8



POINT RANKING

ロードスターカップ NA8／ポイントランキング

Rank	No.	Name	4/8	5/20	7/22	9/1	Total
			Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Point
1	230	石渡 幸治	20	20	20	15	75
2	60	土屋 潤	15	0	15	20	50
3	82'	正木 佳	—	15	—	—	15
4	82	勝とう 常時	—	—	—	12	12
5	92	沖田 篤佳	—	0	12	—	12
6	88	山田 健介	0	12	0	0	12

ロードスターカップ NA8 230 石渡幸治

シリーズチャンピオンが取れてとても嬉しいですが、今シーズンは雨が多くて、その雨には自分が弱かったので、来シーズンはそのあたりをしっかりと決めて精進していきたいですね

ROADSTER CUP NB8



POINT RANKING

ロードスターカップ NB8／ポイントランキング

Rank	No.	Name	4/8	5/20	7/22	9/1	Total
			Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Point
1	11	戸田 裕一	20	20	20	15	75
2	78	赤石沢 清人	—	15	0	20	35
3	3	羽入 大輔	8	12	12	0	32
4	77	伊藤 元輔	10	8	2	8	28
5	100	芹澤 祥宏	15	10	—	—	25
6	75	澤田 薫	12	—	—	12	24

ロードスターカップ NB8 11 戸田裕一

2年連続して最終戦で優勝できなかったのが非常に悔しいですが、チャンピオンは取れて良かったです。開幕戦でコースレコードを更新できたのがとても嬉しかったです

ROADSTER CUP NC



POINT RANKING

ロードスターカップ NC／ポイントランキング

Rank	No.	Name	6/10	7/22	9/1	12/9	Total
			OMF	Rd.3	Rd.4	Rd.6	Point
1	21	新井 敏克	20	20	20	10	70
2	64	芝本 淳	12	15	15	15	57
3	8	菊池 聡	15	12	0	20	47
4	70	東 徹次郎	—	—	—	12	12
5	121	Blackmore	0	0	12	0	12

ロードスターカップ NC 21 新井敏克

今シーズンは辛いこともありましたが、一年間楽しいレースが出来ました。最終戦の今日もバトルに加わりたかったのですが、マシントラブルで残念でした。辰年なのでトロフィーに辰が入っているのがとても嬉しいです！

DEMIO RACE



POINT RANKING

DEMIO RACE／ポイントランキング

Rank	No.	Name	6/10	7/22	9/1	12/9	Total
			OMF	Rd.3	Rd.4	Rd.6	Point
1	75	西山 隆	20	20	20	20	80
2	85	奥津 智貴	15	0	15	15	45
3	34	常盤 岳史	12	15	12	0	39

デミオレース 75 西山隆

シーズン最初からきちんと走れるマシンを作って参戦しました。昨シーズンの終わりにマシンの癖などわかるくらい乗って十分に準備して望んだのが結果につながったと思います、とても充実したシーズンでした。

今シーズンを締めくくる恒例のシリーズ表彰式が、レース終了後にクリスタルルームで行われた。激しい戦いを繰り広げてきた各ドライバーとチームスタッフたちも最後は笑顔でライバル達と席を共にし、情報交換や来シーズンの相談など、談義に花を咲かせている。長年続けているドライバーやチームと新参してきた若手、長く続いているカテゴリーだけに3世代の年齢差でも一緒に楽しく戦えるこのチャンピオンレース。ここからトップにのし上がって行きそうな若いドライバーや孫がいる超ベテランまで円卓をかこみながらの表彰式の間中、楽しそうな談笑が各所で見られる今年も和やかな表彰式となった。

ROADSTER NA6



POINT RANKING

ロードスター／ポイントランキング

			4/7~8	5/20	9/2	10/27	12/9	Total	
Rank	No.	Name	耐久	Rd.2	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Point	
1	1	雨宮 恵司	7.5	1	20	20	20	88.5	
2	18	大野 俊哉	7.5	1	8	15	0	46.5	
3	21	あすか	6	1	3	10	8	36	
4	8	福永 健二			12	—	15	6	33
5	9	万歳 聡			—	8	12	12	32
6	22	ニャジゴン	6	1	6	12	4	2	31

ロードスター NA6CE 1 雨宮恵司

皆様のおかげで勝つことができました。全戦優勝は初めてでとても嬉しいです。若手を育てるつもりで毎年やっていますが、来シーズンも頑張って大野選手とのバトルも来年もやっていきたいです

SUPER FJ



POINT RANKING

スーパーFJ／ポイントランキング

			4/7	5/20	6/10	7/22	9/2	10/28	
Rank	No.	Name	Rd.1	Rd.2	OMF	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Total
1	1	OSAMU	12	15	20	20	15	—	82
2	75	上別府 将司	20	8	12	12	12	10	74
3	58	石川 京侍	—	20	15	15	0	20	70
4	36	太田 達也	—	12	8	10	0	12	42
5	22	赤堀 憲臣	0	10	6	4	10	6	36
6	41	今井 龍太	0	0	3	8	20	3	34

SUPER FJ 1 OSAMU

スーパー耐久のレース中に不慮の事故に遭ってしまったが、OSAMUが連続シリーズチャンピオン。コメントは聞けなくなりましたが、シーズン中、何度かお話をお伺いすると「勝ちにくくなったのは悔しいというより、若手が速くなってきて嬉しい!」とばかり話していた。

AE111 LEVIN/TRUENO



POINT RANKING

AE111 レビン/トレノ／ポイントランキング

			4/7~8	6/9~10/7/28	9/1	12/9	Total	
Rank	No.	Name	耐久	OMF	Rd.3	Rd.4	Rd.6	Point
1	7	市丸 聡	1	20	15	20	12	68
2	77	なかむら たかひろ		15	20	12	0	47
3	78	冥賀 直文	1	10	10	10	15	46
4	22	宮崎 敏		12	8	15	10	45
5	46	溝口 司	10	1	8	—	3	30
6	4	太田 侑弥		—	—	—	20	20

AE111 7 市丸聡

いつもチャンピオンを狙っているので、今シーズン取れてとても嬉しいです。コンスタントに上位に入れたのと、今日の最終戦では運も味方についてくれたと思います。でも、今日だけ出てきた太田侑弥さんはやはり速い!

NA1600



POINT RANKING

NA1600／ポイントランキング

			6/9	9/2	10/28	12/9	Total
Rank	No.	Name	OMF	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Point
1	37	秋元 優範	15	20	20	20	75
2	73	小宮 伸介	20	0	0	0	20
3	12	なかむら ともき	0	—	—	15	15
4	99	竹内 秀伸	0	—	0	12	12

NA1600 37 秋元優範

とても良いシーズンでした。昨年から別にマシンにも手を加えてはいないし、練習もしていなかったのですが、運が良かったのと何より壊れないエンジンやマシンを作ってくれた皆さんのおかげだと思っています。

※ポイント表の中で“OMF”は“フリースケール ザ・ワンメイクレース祭り 2012 富士”です。



FJ1600



POINT RANKING

FJ1600／ポイントランキング

			4/7	5/20	6/10	7/22	9/2	10/28	
Rank	No.	Name	Rd.1	Rd.2	OMF	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Total
1	12	北野 正規	—	20	20	0	0	—	40
2	6	笹尾 徹也	0	—	—	—	0	20	20
3	20	柿島 昭一	0	—	0	0	20	0	20
4	0	渡辺 義人	—	—	—	20	—	—	20
5	99	中嶋 香子	20	—	—	—	—	0	20
6	38	原田 健	—	—	—	—	—	15	15

FJ1600 12 北野正規

このマシンにやっと自分が乗れはじめたかなという感じなんですけど、チャンピオンを獲れてとても嬉しいです。S-FJとの混走で若いドライバーに混ざってのレースはおじさんパワーで頑張りました。

MR2



POINT RANKING

MR2／ポイントランキング

			4/7~8	6/9	9/2	10/28	12/9	Total
Rank	No.	Name	耐久	OMF	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Point
1	78	谷田 伸行	1	0	20	20	20	61
2	3	土取 謙太郎		20	15	15	0	50
3	4	阿部 恵一	1	15	0	0	15	31
4	76	深田 篤史	1	0	0	0	0	1

MR2 78 谷田伸行

2年ぶりのシリーズチャンピオンはとても嬉しいです。土取くんに連続チャンピオンを取らせたくないとやってきました。来年も阻止するぞ!今日の決勝中にコースレコードを更新できたのはとても嬉しかったです。

N1600



POINT RANKING

N1600／ポイントランキング

				4/7~8		6/9	9/2	10/28	12/9	Total
Rank	No.	Name	耐久		OMF	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Point	
1	240	山口 崇	10	1	20	20	15	20	86	
2	40	柳本 文彦		1	0	15	20	15	51	
3	36	大石 重之			15	0	12	12	39	
4	16	朝倉 潤司	10	1	0	12	0	0	23	

N1600 240 山口崇

柳本選手の3連勝を阻みました。チャンピオンがとれて嬉しいです。昨シーズンはクラッシュで逃してしまい、悔しい思いをしましたので、今シーズンはそうならないように毎回心がけて頑張りました。